

⑦平和之礎（白山町二本木）

昭和 20 年 6 月 26 日、日本の戦闘機・飛燕^{ひえん}が B29 爆撃機に体当たり攻撃し、飛燕は白山町二本木地区周辺、B29 は白山町倭地区に墜落しました。

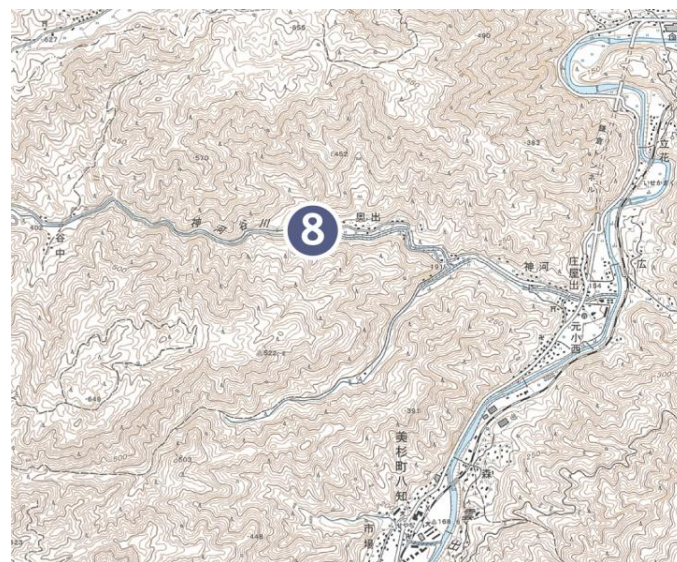
津市白山郷土資料館には、これらに関する資料が展示されています。



⑧谷中の碑（美杉町八知）

昭和 20 年 7 月 24 日、本土爆撃に飛来した B29 爆撃機から谷中地区^{たんなか}に落とされた爆弾により、薬草取りや川遊びをしていた子どもを含む 7 名が犠牲になりました。

平成 8 年、この痛ましい出来事を後世に伝えるため、現在の地に碑が建てられました。



平和学習マップ

戦後 75 年以上が経過し、人々の記憶の中から戦争の惨禍が忘れ去られようとしています。これら歴史の記憶をとどめ、現在から未来への「平和」につなげる教訓として、市内に残る戦争に関わる場所や出来事を紹介します。

○三重海軍航空隊の戦後

昭和 17 年(1942)8 月、少年兵の養成を目的として香良洲に開設された三重海軍航空隊（通称:予科練^{よかれん}）は、戦争終結後の昭和 20 年(1945)9 月、戦後の残務整理が完了して解隊となりました。

その後、施設の一部は学校校舎などに再利用されました。



①正門（昭和 49 年に移築復元）

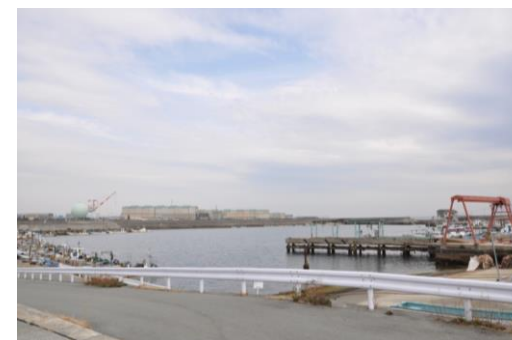


三重海軍航空隊の範囲（太線内）

※香良洲町域の約 1/3 の面積を占める広さであった。



②レンガ堀（旧正門付近）
（令和 5 年に解体）



③繫船池（改修し香良洲漁港として利用）



汽缶場と煙突（平成 11 年に解体）

○戦争の傷跡・平和への願い

①旧塔世橋の欄干（万町津）

安濃川に架かる国道 23 号塔世橋の南詰に、
空襲の傷跡が残る万成花崗岩製の旧塔世橋の
欄干の一部が保存されています。



旧塔世橋の欄干



②藤堂家墓地（寿町）

津藩藤堂家の菩提寺である
寒松院は、空襲で建物を全
て焼失しました。津藩及び
久居藩の歴代藩主墓地に
は、空襲により破損した墓
石があります。



津藩第 4 代藩主藤堂高睦の墓

③観音寺（大門）

津の名所として賑わった観
音寺。空襲で建物を全て焼失
しましたが、境内には戦禍を
くぐりぬけた銅造地藏菩薩
坐像・梵鐘・銅灯笼・銅造水
盤などが残っています。



観音寺 銅造地藏菩薩坐像

④勤労動員学徒供養塔

（上浜町 6 丁目）

勤労動員で来ていた名古屋
市立機械工業学校の教師と
生徒 15 名が、昭和 20 年 6
月 26 日と 7 月 24 日の空
襲で亡くなりました。



勤労動員学徒供養塔



⑥軍馬軍犬之碑

（久居野村町）

戦場へ徴用され、犠牲とな
った軍馬や軍犬、伝書鳩の
ための碑。この近くには、旧
陸軍の「陸軍墓地」がありま
す。



⑤旧神戸国民学校の周辺（神戸）

昭和 20 年 4 月 7 日、神戸地区が爆撃
を受け、住民や神戸国民学校の教員 58
名が死傷しました。神戸乃神社の建物や
額、集落のレンガ壁には、今も爆撃の痕
跡が残っています。

弾痕の残るレンガ塀

